

## 1・2号機廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて

平成18年3月27日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

平成18年3月25日午後0時10分頃、1・2号機廃棄物処理建屋ボイラー棟2階（非管理区域）を当該設備の委託運転員がパトロールを実施していたところ、ボイラー設備の給水ポンプ（B）出口の一部戻り配管\*1の流量制限オリフィス\*2部付近より水が漏れているのを確認しました。直ちに、当該設備の委託運転員が当該ポンプを停止するとともにオリフィス部の前後弁を閉めたことにより水漏れは止まりました。

漏れた水（非放射性）の量は約250リットルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

（添付「系統概略図」参照）

当該部の配管を取り外し点検したところ、配管に幅約1mm、長さ約8.5mmの貫通孔を確認しました。

今後、当該配管に貫通孔が発生した原因等について調査し、必要な措置を講じます。

なお、これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

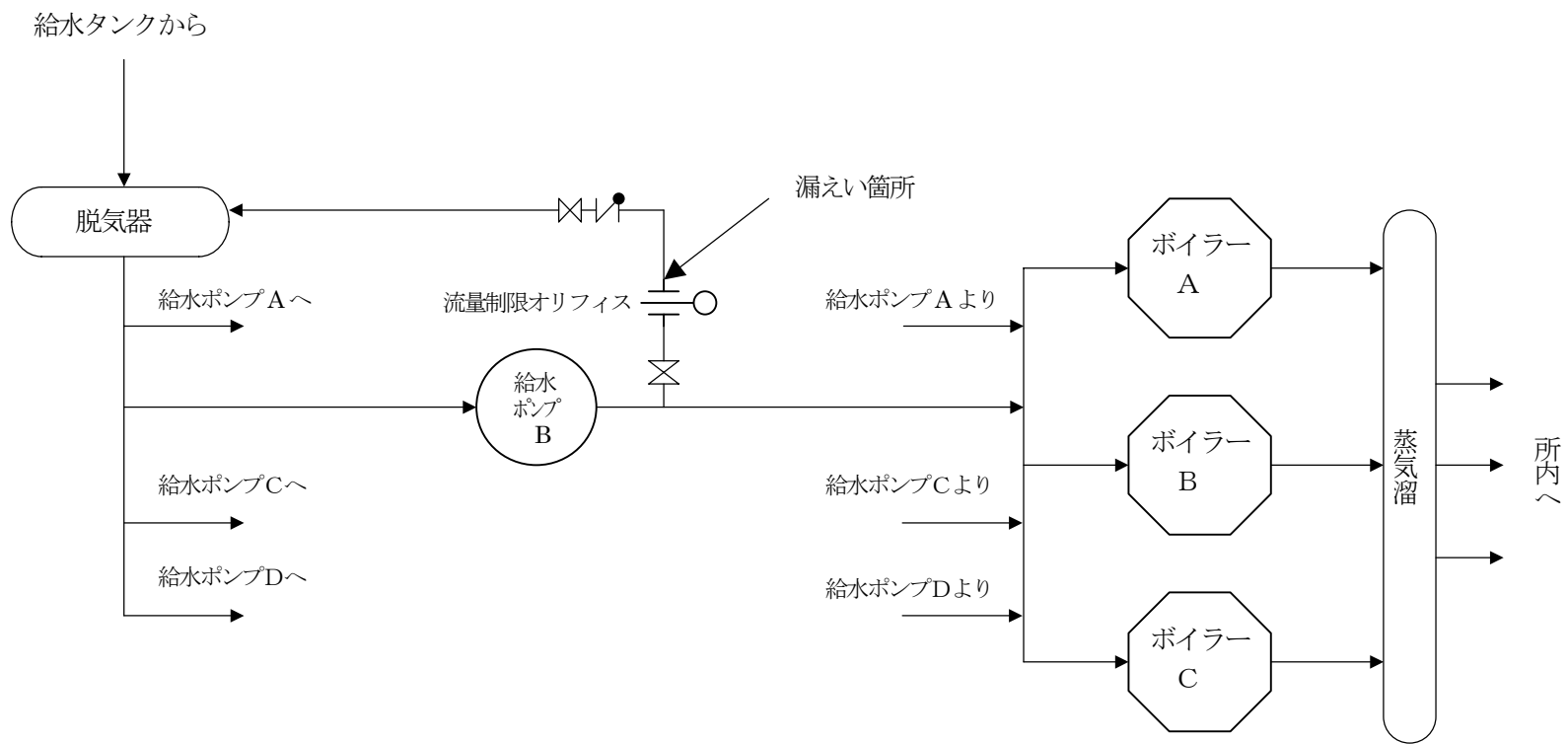
\*1：一部戻り配管

ポンプの過熱や振動を防止するため、ポンプの最低流量を確保するための系統。

\*2：オリフィス

配管内を流れる水の経路を絞ることにより圧力を低下させる、または流量を制限する機器。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。



系統概略図